

令和 8 年 8 月 21 日
航空局 安全部
航空機安全課

米国 Archer Aviation 社の空飛ぶクルマの 型式証明の申請受理について

本日、国土交通省は、米国の空飛ぶクルマのメーカーである Archer Aviation 社が開発中の機体について、同社から、航空法に基づく型式証明の申請を受け付けました。空飛ぶクルマとしての型式証明の申請受理は、5 件目となります。

国土交通省としては、今後、機体の開発の進捗に合わせて、航空機の安全性及び環境適合性に係る審査を適切に進めてまいります。

- 今般、米国・カリフォルニア州に所在する Archer Aviation 社において開発が進められている電動・垂直離着陸型の航空機、いわゆる“空飛ぶクルマ”である Midnight (M001 型)について、同社より航空法に基づく型式証明^{※1}の申請があり、国土交通省は本日付けでこれを受理しました。なお、Midnight (M001 型)は、フルスケールモックが 2025 年大阪・関西万博で地上展示された機体です^{※2}。

※1 型式証明とは、機体の設計が安全性及び環境適合性に関する基準に適合することを国が審査・検査する制度のこと。

国は、機体の開発と並行して審査・検査を行う。

※2 2025 年大阪・関西万博では、他に（株）SkyDrive の SD-05、Joby Aviation 社の Joby S4 及び LIFT Aircraft 社の HEXA の 3 機種の空飛ぶクルマが展示飛行を行いました。

- 空飛ぶクルマとしての型式証明の申請受理は、我が国で 5 件目^{※3}となります。国土交通省としては、今後、開発の進捗に合わせて、米国連邦航空局（FAA）とも連携し、航空機の設計・製造過程等に係る型式証明審査を適切に進めてまいります。

※3 空飛ぶクルマとしての型式証明の申請をこれまでに 4 件受理。

- ・（株）SkyDrive の SD-05（本社：愛知県）、令和 3 年 10 月 29 日付けで受理
- ・ Joby Aviation 社の Joby S4（所在地：米国・カリフォルニア州）、令和 4 年 10 月 18 日付けで受理
- ・ Volocopter 社の VC2-1（所在地：独国・ブルッフザール）、令和 5 年 2 月 21 日付けで受理
- ・ Vertical Aerospace 社の VX4（所在地：英国・ブリストル）、令和 5 年 3 月 29 日付けで受理

【問い合わせ先】

航空局 安全部 航空機安全課 浦野、國竹

TEL：03-5253-8111（内線 50202、50212）、03-5253-8735（直通）



Archer Aviation 社の会社概要及び機体概要

【会社概要】

- ◆ 設立 2018 年
- ◆ 所在地 米国, カリフォルニア州
- ◆ 人数規模 1100 名以上
- ◆ CEO Adam Goldstein
- ◆ 事業内容 eVTOL^{*1}を含む民間及び防衛用航空機の開発/設計/製造

^{*1}eVTOL: 電動垂直離着陸機

【機体概要】 Midnight (M001 型)

- ◆ 主翼の前側にチルト式電気推進ユニット 6 基、後ろ側に固定式ユニット 6 基、合計 12 基の電気推進ユニットを搭載した eVTOL 機
- ◆ 2025 年大阪・関西万博に地上展示にて参加
- ◆ 機体諸元

- 最大離陸重量^{*2}
約 2,950kg
- 最大搭乗者数
パイロット： 1 名
乗客： 4 名
- 最大速度
時速 240 キロメートル
- 航続距離^{*2*3}
約 160 キロメートル



^{*2} 試験中の機体の数値であり、今後の変更があり得る。

^{*3} 気象条件、搭乗者数等により変わり得る。

(Archer Aviation 社の確認を経た上で、国土交通省航空局で作成)